

じめとする青果物販売額の増加と農業機械事業などの購買供給の増加、福祉介護事業の利用者拡大などにより当期剰余金は6,419万円を計上しました。

◎販売部門

白神ねぎは過去最高の販売額を記録

水稲は、作況指数104と反収が増加した生産者が多い年となりました。契約数量は上回りましたが、離農者の増加に伴い、集荷数量は264,237.0俵と計画対比で97.8%の実績となりました。販売面では、飼料用米等の取り組みにより需給環境が改善されたことや、概算金・販売価格の上昇の影響により、販売高は34億3,253万円、計画対比110.6%の実績となりました。

青果物では、農業者所得の増大を第一に考え、新規作付けの一助となるよう有利販売に努めました。「白神ねぎ」については、夏の猛暑による収量減と台風による他産地の減収により、年間を通して高値堅調な販売となり、出荷量3,728.3t、販売高13億2,128万円、kg単価354円と2年連続となる販売額10億円を突破し、出荷量・販売高・kg単価とも過去最高となりました。

他作物についても高単価での販売となり、青果物全体では、出

荷量5,047.8t、販売高18億108万円、kg単価357円となりました。販売高では、計画対比112.5%と、過去最高の実績となりました。

◎購買部門

組合員のニーズに対応

生産資材では、肥料・農薬超目玉商品7銘柄、肥料の特別価格銘柄18品目を設定しながら生産コスト削減を目指した取り組みを行いました。農家手取りの最大化に向け「生産資材価格の引き下げ」に取り組み、生産資材の供給高は13億3,961万円、計画対比95.3%の実績になりました。

生活資材では、組合員ニーズに即した信頼と安心できる生活物資の提供を進め、「安全・安心」を最大限意識した提案をしました。生活関連事業の供給高は2億5,295万円、計画対比97.3%の実績となりました。また、農業機械・燃料部門でも組合員に積極的な事業推進に取り組みだ結果、計画以上の実績をあげることができました。

◎信用・共済部門

地域に密着したサービスを提供

貯金においては、「農業とくらしに貢献し、選ばれ・成長し続けるJAバンク」の実現に向け

て取り組み、県下統一サマー・ウィンターキャンペーンなどを提供し、3月末貯金残高で392億3,252万円、計画対比103.5%の実績となりました。

融資につきましては、利用者のニーズに因應するため、様々なローンキャンペーンを展開し商品提供をしてまいりました。農機具関連資金は前年度に引き続き利子補給制度を活用し、農業支援に取り組みましたが、経済情勢は依然として厳しく、3月末貸出残高は83億743万円となり計画対比86.7%の実績となりました。

共済部門では、組合員・利用者からの信頼と期待に因應するため、「ひと・いえ・くるま」の総合保

障の提供と、LAによる3Q訪問活動を展開し、豊かで安心して暮らすことのできる地域づくりに取り組みました。

生命総合および建物更生共済等の長期共済は1,378件の契約をいただき満期18億3,298万円、計画対比75.4%、保障57億8,346万円、計画対比74.8%の実績となりました。

平成28年度もJA共済はより多くの人にご利用頂いたことで、支払件数で3,969件、20億1,266万円の共済金（満期共済金を含む）をお支払いし、組合員・地域利用者の方々のお役に立つことができました。

第19回通常総代会提出議案

〈報告事項〉

報告事項1

第19年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日）貸借対照表、損益計算書及び注記表の内容並びに全国監査機構の監査報告及び監事の監査報告について

〈提出議案〉

議案第1号

第19年度事業報告及び剰余金処分案の承認について

議案第2号

定款附属書役員選任規程の一部変更について

議案第3号

役員の選任について

議案第4号

退任監事に対する退職慰労金支給について

付帯決議

決議事項中、行政庁の認可、承認等が必要とするものについて、総代会決議の内容を変えない字句等の変更は理事会にご一任願います。